

**山田高×工大一 4強出そろう 光星×聖愛**

**第99回 全国高校野球 青森大会**

**第10日**

第99回全国高校野球選手権青森大会は第10日の24日、弘前市のはるか夢球場で準々決勝2試合を行い、八工大一と八学光星の八戸勢が勝利し、4強に進出した。八工大一は三回に打者一巡の猛攻で6点を挙げ、先発古屋敷の力投もあり青森東を10-1の七回コールドで下した。八学光星は接戦で迎えた七回、主砲小池の一振りで青森中央を突き放し、終盤にも加点し9-3で振り切った。大会第11日の25日は同球場で青森山田―八工大一、八学光星―聖愛の準決勝2試合を行う。  
(本紙取材班)

# 光星 着実加点

## 青中央打線 反撃及ばず

▽準々決勝(はるか夢球場)  
**青森中央**  
 3012 0000 2030  
**八学光星**  
 3002 0010 2030  
 × 93

(青) 三浦凌―山田(八) 中村、成田、福田、向井―齊藤、瀬川  
 ▽本塁打 小池(八)  
 ▽三塁打 高坂(青) ▽二塁打 小池3、馬場、小淵(八)  
 ▽暴投 三浦凌2(青)



【青森中央―八学光星】7回裏、八学光星無死一塁、小池が左翼席に2点本塁打を放ち、6-3とリードを広げる。捕手・山田(青森中央)

苦しむ4番が一発  
 ○…20日の3回戦までわずかに安打と苦しんでいた八学光星の小池が、勝利を引寄せると本塁打を放った。

3回戦までは「気持ち前に出すぎた」と打ち込んだ。打撃フォームが崩れ、タイミングが全く合わなかったが、連日、仲井監督とマンツーマンのティー打撃など、手のひらの皮がめくれるほど個別練習に打ち込んだ。その成果がようやく実

【評】八学光星は3-1で同点の五回、1死三塁から馬場の中前適時打で勝ち越しに成功。七回には無死一塁で小池の左越え2点本塁打でリードを広げ、八回も3点を加えて試合を決定づけた。投げては4投手の継投で粘る相手を振り切った。